

統計局ホームページを通じた統計教育の拡充に関する懇談会（第2回） 議事概要

- 1 日 時 平成21年10月16日（金） 10:00～12:00
- 2 場 所 総務省第二庁舎 3階第1会議室
- 3 出席者 渡辺座長、青山委員、小口委員、菅野委員、富永委員、中本委員、西仲委員、西村委員、藤井委員、牧下委員
総務省統計局：川崎統計局長、三上統計情報システム課長、
高田調査企画課調査官ほか
- 4 議 題 (1) 授業モデル案について
(2) 国の統計を活用した統計学習教材の作成について
(3) 意見交換
(4) その他
- 5 配付資料
資料1 青山先生による授業モデル案
資料2 小口先生による授業モデル案
資料3 菅野先生による授業モデル案
資料4 中本先生による授業モデル案
資料5 西仲先生による授業モデル案
資料6 西村先生による授業モデル案
資料7 藤井先生による授業モデル案
資料8 牧下先生による授業モデル案
資料9 渡辺先生による授業モデル案
資料10 国の統計を活用した統計学習教材の作成ーカナダ統計庁の事例から（川崎統計局長）
資料11 「用語集」収録候補キーワード
資料12 今後の懇談会開催予定について
参考1 労働力調査の抽出方法の概念図
参考2 統計局ホームページを通じた統計教育の拡充に関する懇談会開催要領

6 議事の概要

- (1) 授業モデル案について、各先生からの説明後に、作成された授業モデル案について意見交換が行われた。また、これら授業モデル案については、本懇談会資料の一部として、ホームページに掲載することとされた。

主な意見

- 公表されているデータの有効数字を、授業において、どのように生徒に教えていくかは検討が必要。
- 授業では、いきなり表計算ソフトに頼るのではなく、生徒が手作業でグラフを作ったり、データの集計をするなどの学習をしていくプロセスが大切。
- Gセンサス（シンフォニカ提供）を使うと統計地図が比較的簡単に作成できるため有用。

(2) 「国の統計を活用した統計学習教材の作成」について、統計局から説明。

主な意見

- 統計学習教材としては、第1回の資料3にあったような統計の歴史にまつわるエピソードなど先生が授業の導入に使えるトピックス的なコンテンツがあってもよいのではないかと。また、表計算ソフトを扱う際のコツのような情報も有益。
 - 統計データがどのように収集されているかそのプロセスが分かるような素材もあるとよい。例えば、参考2で示してもらったような実際のサンプリングの方法など現場の先生にはよく知られていない。
 - いろいろな種類のグラフについて、その利点、欠点、使い分けなどを示すことも考えられる。誤用やウソなどへの言及があってもよい。
 - 諸外国の統計教育に関する授業モデル等の優れたコンテンツを和訳して掲載することも考えられるのではないかと。
 - goo マップのような、データからグラフを簡単に作成できるツールがホームページにあるとありがたい。
 - 用語集について、学習指導用要領等に出てくる用語以外にも、「ばらつき、分布」など日常生活でよく使われる統計関連の用語を収録した方がよいのではないかと。
 - 「移動平均」といったキーワードから逆引きして、用語の解説、授業モデル、データ等を見つけることができる機能があればありがたい。
 - 最近では、特に諸外国においてホームページ上での動画による情報提供が多くみられており、子供たちの統計への導入として、動画の活用が有用ではないかと。子供たちは初回の使用感がつまらないと、二度とそのサイトに訪れない傾向がある。典型となる事例をうまく作り込んでおく必要がある。
- (3) 今後の進め方として、12月下旬又は1月上旬に第3回会合、3月下旬に第4回会合を開催することとし、次回会合までに各委員がそれぞれ本日の意見交換を踏まえ、授業モデル案をリバイスすることとされた。

※ 文責：事務局（今後、修正される場合があります。）